



### ☆☆☆はじめに☆☆☆

マンスリーニュースが今号より変わります。

会員のみなさまに共有していただきたい内容を盛りこんでお届けします。

ご協力をお願いしたい予定など早めにお知らせすることで、

実際に足を運んでいただけるよう、これからも工夫してまいりますのでよろしくお願いいたします。

また、報告する内容が増えたため、阿部代表の巻頭言は HP へ移動しました。

楽しみされていた方は申し訳ございません。

今後は、HP (<https://www.jvec.jp/>) でお会いしましょう。

.....

今年の冬は寒さが例年になくきびしく、寒いというより冷たいという印象でした。2月の屋上菜園はそれほど忙しくなく、スナップエンドウの誘引、イチゴへの追肥、寒起しなどの作業が主でした。3月からいよいよ忙しくなります。まずジャガイモの植え付けがはじまります。

## JVEC プロジェクトの動き

### 1. 荒川区 「ゆいの森あらかわ・ワークショップの受託決定」

この度、荒川区地域文化スポーツ部ゆいの森課より平成30年度の園芸ワークショップ事業を2件受託しました。フラワーデザイン教室とミニ盆栽で対象は児童です。初夏から始まる予定です。  
(庭野・阿部)

### 2. JVEC 式屋上菜園野菜栽培研修会 【3月・4月・5月開催】

2月号で2月から開始とご連絡しましたが、準備の都合もあり、1ヶ月繰り下げて3月から開始とします。詳細は会員の皆様にはメールで連絡させていただきます。テキストは「JVEC屋上菜園ガーデンマスター用マニュアル」を使用します。  
(阿部・庭野)

### 3. 三井住友海上火災様での土壌改善作業

4月から三井住友海上火災様の屋上菜園で土壌改善作業が始まります。4月は2回耕耘作業をします。スコップを使って行います。

◇1回目 5人で4時間作業

◇2回目 5人で2時間作業

◎時給 / 1500円 ※交通費別途支給

詳細は日時が決まり次第お知らせいたします。

作業に関われそうな方はぜひご連絡お待ちしております。

(阿部・庭野)

## 3月の予定

□北千住ルミネ屋上作業 毎水曜日

3月7日・14日・28日作業 午前10時～12時

□遊心「親子一緒に野菜づくり&自然ふれあい教室」

土曜日開催

《3回目》3月3日・《4回目》3月24日

午前10時～12時

場所 / 神田ハゴロモビル屋上

□理事会

3月17日(土) 午後2時～3時

場所 / 神田ハゴロモビル

□運営会議及び懇親会

3月17日(土) 午後3時～5時

場所 / 神田ハゴロモビル

□屋上菜園野菜栽培研修会【全3回】

金曜日開催

3月16日・4月13日・5月18日 午後3時～5時

場所 / 神田ハゴロモビル

## 2月の活動報告

### ◇遊心「屋上菜園で子育て支援」部会◇

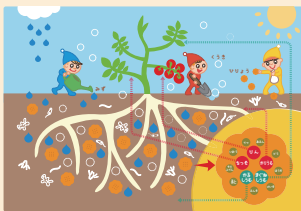
野外活動のインストラクターを養成する「一般社団法人遊心」さんとJVECのコラボレーションによる屋上菜園を使った子育て支援、2月は「野菜が成長するための肥料」でした。

今回からテキストの制作は阿部さんと丸原さんです。小人が畑の土の中に水や肥料、また空気も吹き込んでいくという、大変かわいいテキストとなりました。子供たちの想像力をふくらませイメージが広がります。阿部さんがそのテキストを使っての説明、その後は屋上へ上がり、それぞれの区画に畝を作る実習をしました。

お父さんお母さんと協力してきれいな台形の畝を作っていました。次は畝の真ん中に指でくぼみを作り肥料を入れて土で覆い終了。

最後は遊心さんの記憶が定着する遊びのコーナーです。大人たちが植物になり、子供たちはお水や肥料になって植物の周りに集まり、お水や肥料を供給します。すると植物はぐんぐん成長していきます。遊心さんの遊びで子供たちもしっかり覚えてくれたと思います。

(伊藤)



イラストを使ったテキスト



親子で畝づくりをする様子



植物と土の中をからだを使って表現

### ◇三井住友海上火災(株)屋上菜園部会◇ 「メンテナンス契約」締結へ

3月中旬までには2018年度のメンテナンス契約を締結する予定です。主な業務内容は、

- (1) 屋上菜園全体の土壌改善作業（有機的栽培のための耕耘、施肥等）
- (2) 三井住友海上火災の指示に基づく屋上菜園での蕎麦栽培

(庭野、阿部)

### ◇北千住ルミネ屋上菜園部会◇

#### イチゴのマルチング作業

2月21日、北千住ルミネ・屋上菜園ガーデンでは、イチゴのマルチ張りや土の寒起こしなど、春を迎えるための作業を行いました。マルチ張りとは地中の保温や乾燥防止のために野菜の根元の土をシートで覆うことです。イチゴのマルチ張りでは、まず黒いビニールシートをイチゴが植わる区画全体にかぶせ、それからイチゴの植わっている位置に穴をあけてイチゴをビニールから出すようにしました。そうするとイチゴの実が土に触れず、傷みません。次に野菜の植わっていない区画の土を掘り返す、寒起こしを行いました。こうして冬の間に土をかき混ぜることで、土の中の水分が凍り、病原菌や害虫が死滅するという効果が期待できます。まだまだ寒い日が続きますが、ブドウもブルーベリーも枝に新芽を付け、春に向かって準備しています。

(藤掛・阿部)



イチゴの黒マルチ



寒起こしをした土

### ◇エゴマ部会◇ サポーターズクラブの結成

島根県川本町のえごま農家であり、JVECの会員でもある柴原さんのえごま事業をサポートするための支援組織、「えごまサポーターズクラブ」結成の準備に入っています。有機的野菜だけでなく生産者と消費者が「有機的」につながり、価値観を共有する時代になっています。クラブの内容は4月号でご案内致します。

(阿部)

☆「屋上菜園物語」もアップされています。

JVECホームページは毎月更新されています。会員の皆様は是非ご覧ください。→<https://www.jvec.jp/>